

## 精神障害説明資料 (武豊町)

### ○ 精神病とは

- ・ 統合失調症
- ・ 躁うつ病
- ・ うつ病
- ・ その他

### ○ 遺伝性はあるか

- ・ 誰でもかかる可能性はあるし、誰にもかからないという免疫性は持っていない。

### ○ 精神障がい者は必ず病人である。(他障害との違い)

- ・ 他の障害は必ず病人とは限らない。
- ・ 再発する
- ・ 不安定で症状に波がある。

### ○ どれくらいの患者がいるか

- ・ 1999年(平成11年)の精神障害者総数は204万人です。(厚労省報告)国民60人に1人です。入院者は33万人で国民370人に1人、入院者がいます。  
統合失調症はどの国でも何時の時代でも、100~140人に1人の割合で発症する。  
躁うつ病は50人に1人が、うつ病は5人に1人は一生のうちにかかるといわれています、誰にとっても他人事ではなく、大変身近な病気です。

### ○ 精神障がい者の手帳所持者は

- ・ 精神疾患のうち障がい者手帳所持者の数を調べると、平成18年度で512,150人です。国民240人に1人であります。近年手帳所持者が多くなっています。しかしそれでも障害手帳を取得しない人が多いです。これは精神障がい者の今まで置かれた立場に関係していると思います。
- ・ 武豊町の精神障害者保健福祉手帳の所持者数(22/3現在)  
1級: 10人 2級: 116人 3級: 50人 合計176人(人口万対比: 41.6)

### ○ 外国と比較して

- ・ 入院患者が多い。・ 日本は入院患者が多い、入院日数も諸外国に比べて多い。
- ・ 社会的入院が多い。1/3の11万人は入院する必要はないと言われます。国が進める退院促進事業では7万人を退院させようとしています。しかし諸外国と入院者数を比較すればもっと多い社会的入院者がいると思われれます。

## ○ 障がい者と意識するまでに

- ・ 統合失調症の病気になっても家族も本人も受け入れられない。したがって年金も申請しない人が多い。
- ・ 本人はあれもこれもと挑戦して、ことごとに夢が破れていく。自分はこうゆう病気にかかったから、こうして生きていくんだという事が納得できるまでに、何年も悶々と過ごしている人が多い。隠れて生活している人も多い。

## ○ 社会的差別

- ・ アパートに入れない
- ・ 就職
- ・ 地域での生活の困難さ
- ・

## ○ 障害間格差（他の障がい者よりも精神障がい者が不利なこと）

- ・ 医療費（別項）
- ・ 公共交通の料金
- ・ 地方自治体における各種福祉施策の格差

## ○ 無年金者の問題

- ・ 無年金問題は今、社会問題になっているが、精神障がい者は病気であるがゆえに無年金になっている人が多いのが特徴です。20歳以下で発症すれば当然ですが、掛け金は払っていなくても障害年金の対象になります。統合失調症の場合、20歳から30歳までの発症が多いですが、親は年金を払っていると思っけていても実際は払ってなくて、20歳過ぎに発症するケースが多く有ります。（決して本人がズルで払っていなかったのではなく、そのとき病気である事を本人も家族も気がついていなくて、払ってなかったということです。学生等、1人暮らしによくあるケースです。「どうも変だ」という生活を何年も過ぎた後、医者に受診したら、統合失調症だったということが多くみられます。
- ・ 「どうも変だ」という時に一人暮らしで、年金を払わなかったことが多いようです。

以上